

十二のキーワードで巡る、人と万物の四季



木村俊介 Concert

音のいろ・舞のうた

Colors Sounding ——— Songs Dancing

木村俊介 作曲/笛・三味線 <特別出演> 鼓童 小島千絵子 舞踊・太鼓

<ゲスト> 朴順雅^{パクスナ} カヤグム 小野越郎 津軽三味線

日時: 2016年3月6日(日) 17:30開場、18:00開演
Sunday, March 6 Hall opens Performance

会場: 彩の国さいたま芸術劇場・小ホール
Venue Sainokuni Saitama Arts Theater (Adaptable Theater)

料金: 全席自由 ¥4000 (当日¥4500)、高校生以下¥2000 (当日¥2500)
Admission

想いが溢れた時、言葉よりも先に「あゝ」と吐息が洩れることがあります。その吐息がそのまま歌になるように、「自然に笛を奏でてみたい」という希いからこのコンサートを企画しました。そして、そんな我儘気儘な笛の音に寄り添って豊かな色彩を加えてくれる二人の音楽家、小野越郎さんと朴順雅さんをゲストに迎えました。又、今回は特別に、太鼓芸能集団『鼓童』から舞踊家の小島千絵子さんにご出演頂きます。土地土地に古えより伝わる祈りの舞を土台に、独自の舞踊表現を築き上げた、まさに道なきところに道を拓いてきたアーティストです。近年私の心に留まった十二の詩句やことばをキーワードに、音と舞が自由自在に羽ばたきます。ご期待ください。

木村俊介



木村俊介 作曲/笛・三味線
Kimura Shunsuke : Fue, Shamisen

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは心象風景をモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また日本各地の民俗音楽のリズム・旋法を取り入れた音楽は海外でも評価され、小野越郎氏とのDUOなどで世界30カ国以上の音楽祭に招聘出演している。浦和高校卒、さいたま市在住。

<2015年の主な活動>

- 1月、演劇倶楽部「座」公演『ひやめし物語・ちゃん』(壤晴彦演出)にて音楽を担当
- 5月、坂東玉三郎演出・出演、鼓童『アマテラス』(大阪松竹座)に楽曲・詞を提供
- 8月、鼓童『アースセレブレーション2015』において小島千絵子氏「ゆきあひ」公演の音楽を担当
- 12月、奄美唄者の朝崎郁恵氏をゲストに「音象コンサート」を行う。



太鼓芸能集団 鼓童
小島千絵子 舞踊・太鼓
Kojima Chieko : Dance, Taiko

太鼓芸能集団 鼓童 名誉団員
栃木県岩舟町(現栃木市)出身。
1976年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設に関わる。そこで日本の民俗芸能に魂の閃きを感じ、太鼓中心の舞台の中で独自の舞踊の世界を切り拓いている。2006年坂東玉三郎主演演出の「アマテラス」では初代アメノウズメを演じ、鮮烈な印象を残した。また鼓童の舞台と同時に新たな出会いを求めてソロ活動「ゆきあひ」を展開し、国内外のアーティスト、太鼓グループとの共同制作を繰り返している。木村俊介氏を音楽監督に迎え創作した太鼓と舞の作品「清姫」は代表作品。2015年には写真集「襲の清姫物語り」も発表した。平成24年度文化庁文化交流使に任命される。

小島千絵子写真: 撮影 宮川舞子



パク ス ナ
朴順雅 カヤグム(伽倻琴)
Park Soon-a : Gayaguem

朝鮮、韓国と日本の文化を携え、古典から現代音楽まで国境を越え幅広く活動する音楽アーティスト。日本生まれで幼い頃から民族学校でカヤグムを楽しんだのちピョンヤンと韓国でそれぞれ、異なる伝統芸術を受け継ぐ師匠達に師事。自身のIDENTITYの対象でもあるカヤグムの深い音色の響きを追及するべく、ジャンルを問わない古典、現代、演劇、映画、舞踊と、世界の様々なアーティストとの活動はカヤグムの域を越えた新しい次元の音楽世界に向かっている。池英熙民俗音楽研究会会員

- ・在日本朝鮮大学校師範学部音楽科、韓国 国立ソウル大学、淑明女子大学芸術大学院、国立韓国芸術総合学校 講師歴任
- ・韓国 嶺南(ヨンナム)大学 兼任教授歴任



小野越郎 津軽三味線
Ono Etsuro : Tsugaru-Shamisen

秋田県出身。
津軽三味線を山田千里師に師事。青森県は弘前にて修行を積む。
劇団わらび座の三味線奏者として数々の作品で国内・海外公演に参加後独立。伝統曲・自作曲を織り交ぜたソロ演奏の他「椽」(はんぞう)「和力」(わりき)などのグループや、和楽器奏者の木村俊介氏とのDUOなど様々に活動。津軽三味線の持つ力強さや独特のリズム、音色の多彩さを基に、海外音楽フェスティバルでの多くの演奏経験を活かした独自の表現を求めて創作活動を続けている。

- ・'13年~'14年、ヨーロッパを中心に7カ国にて演奏。
- ・'14年6月にはファーストソロCD「九つの物語」をGreenfin Recordsよりリリース。

[構成・演出] 木村俊介 [照明] 丸山成美 [音響] 金曾武彦 [舞台監督] 原口佳子(モリブデン) [チラシデザイン] maiko [英訳協力] Scott Clark

チケット

料金: 全席自由 ¥4000 (当日¥4500)、高校生以下¥2000 (当日¥2500)
<申込> 3/6チケット申込と明記の上、お名前・ご住所・電話番号・人数を下記宛にメール又はFAX (9~19時)でお知らせください。チケットと振込用紙を郵送致します。

- Email insho@sky.plala.or.jp(木村)
- fax 048-833-7634(9~19時/木村)

※前売チケットはさいたま芸術劇場でもお求め頂けます。窓口販売のみです(休館日を除く9:00~19:00)。ご来館前に残席状況をお問い合わせください。tel. 048-858-5500

本コンサートで収益※が生じた場合、その全額を難病の子供達を支援する活動に寄付させて頂きます。
※収益とは総入場料収入からコンサート開催に要した全経費を引いた額です。

アクセス

彩の国さいたま芸術劇場・小ホール
〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1 <http://www.saf.or.jp/arthall/>

- <電車> JR埼京線与野本町駅(西口)下車、徒歩7分
- <バス> JR京浜東北線北浦和駅(西口)から
 - ・西武バス「大久保」「大久保団地」「加茂川団地」「浦和北高校」行き
 - ・国際興業バス「さいたま新都心」行き
- 「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車、徒歩2分

さいたま芸術劇場の駐車場(有料)は台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

